

令和8年度 西成区 こども・教育関連事業の実施について

1 西成区こども生活・まなびサポート事業(拡充) 重点施策推進経費

(令和8年度 予算額 155,122 千円)

(1) 事業概要

西成区内の小中学校に在学する児童生徒のうち、家庭生活面等で課題を抱えるサポートが必要な児童生徒に対し寄り添い型の支援を行う支援員や有償ボランティアを配置する。不登校の状況に応じた支援を行うことで、「不登校の実質ゼロ」を目指す。また、小学校低学年の児童に対して授業中や休み時間等に寄り添い支援を行い、児童の学習姿勢を定着させ、学習習慣の定着、不登校の未然防止につなげる。

(2) 実施内容（支援員等の配置状況）

	区登校支援・見守り支援員	区居場所支援員	区学習姿勢向上支援員 区低学年サポーター
対象校	区内 16 小中学校	区内 3 中学校	区内全 10 小学校
主な 対象者	家庭生活面などで課題を抱える児童生徒（特に不登校の児童生徒）	学校に通うことはできるが教室に入ることが難しい不登校の児童生徒	小1 プロブレムなどが原因で学習姿勢が身につけていない小学校低学年の児童
配置 人数 配置 時間	各小中学校に1名（計16名） ※1日7時間45分勤務 週5日 ※校外学習（日帰り）1回あたり 上限 2,000 円の交通費	3中学校に1名（計3名） ※1日7時間45分勤務 週5日 ※校外学習（日帰り）1回あたり 上限 2,000 円の交通費	【支援員】 各小学校に1名（計10名） ※1日7時間45分勤務 週5日 ※校外学習（日帰り）1回あたり 上限 2,000 円の交通費 【サポーター（有償ボランティア）】 各校年間 1,050 時間 1時間あたり 1,200 円の報償金
資格	小学生又は中学生の指導や支援経験がある者 など	小学生又は中学生の指導や支援経験がある者 など	【支援員】 保育士又は幼稚園教諭の資格を有し、保育園等での勤務経験がある者 【サポーター（有償ボランティア）】 教員を目指す大学生等を想定

業務 内容	・電話・家庭訪問などにより児童生徒の登校を促す登校支援 ・学校にほとんど通うことができず、家から出られない児童生徒に対し、児童生徒の自宅を訪問し、学習、進路指導、相談対応など、不登校による不利益を生じないような支援を行う訪問支援	学校に通うことはできるが教室に入ることが難しい児童生徒に別室など校内の居場所を確保し、学びの場に定着できるように見守りを行う校内適応指導教室（スペシャルサポートルーム）における支援	小学校低学年の児童が学習に向かえるように支援する学習姿勢向上に向けた支援
スケジュール	（各支援員） ・各学期末に全体集合研修（意見交換会）を実施。（7月30・31日、12月、3月） （登校支援・居場所支援） ・各学期末に不登校に関する調査を各小中学校に依頼。（7月2日、12月、3月） （学習姿勢向上） ・年度当初及び各学期末に学習姿勢に関する調査を各小学校に依頼。（4月20日、7月2日、12月、3月）※1学期末の締め切りは8月14日（金） ・各学期中に授業の状況確認と打合せなどを実施。（6月29日：いまみや小中一貫校、7月10日：長橋小学校）		

（3）進捗状況

- ・4月から順次各支援員を配置し、各学校の実態に合わせて活動を開始したが、派遣契約締結事業者の破産申立てにより、4月10日～5月10日は支援員が未配置となった。翌月5月に契約上の権利義務の承継先が決定し、5月11日より支援員を再配置し支援を再開した。
- ・6月29日と7月10日に新任各支援員（2小学校・1中学校）の活動状況を確認した。先生から、年度当初は児童に落ち着きがなく、話を聞く際もさまざまな方向を向いていたが、区学習姿勢向上支援員に授業中に児童への声掛けなどの個別対応をしていただくことで、規律が身に付き、立ち歩きも減ってきているとの意見があった。

2 外国につながる児童生徒の学習言語定着支援事業 重点施策推進経費 (令和8年度 予算額 12,120 千円)

(1) 事業概要

学習言語が定着しておらず、学力に課題がある帰国・来日等の児童生徒に対して、母国の学校では学習していない内容や、生活言語を習得するまでに授業を受けたため十分に理解できていない内容などの補充学習を行い、教科学習を通して日本語指導を行うことにより、教科等の学習に必要な言語の能力である学習言語の習得を促進し、学力向上につなげる。

(2) 実施内容

対象者	区内の小学校4年生～中学校3年生のうち、日本語指導教育センター校を通級終了程度の生活言語を習得した児童生徒。【日本語能力検定N4(一部)～N5程度のレベルを想定】 また、日本語指導教育センター校に通級中であつたとしても、日本語で簡単なコミュニケーションが取れるなど生活言語をある程度習得している児童生徒も受講可能。【日本語能力検定N5程度のレベルを想定】 ※講師は日本語で学習支援を行うため、児童生徒にはある程度の生活言語を習得していることが必要となるため、入塾に先立ち受講希望者の日本語習熟度を把握するために日本語能力試験を実施する。
申込方法	学校が受講者を推薦する。 ※「利用申込書(保護者作成)」と「受講者推薦連絡票(学校作成)」を事業者へ提出。 ※募集は、随時実施。
定 員	44 名
科 目	算数(数学)、英語、社会、理科から児童生徒の学習状況に応じて1教科を選択する。 ※国語は必須教科。
実施内容	児童生徒1～3名に対して講師を1名配置し、個別の学習指導を行う。
受講時間	小学生は100時間、中学生は100時間実施
授業料	無料
場 所	岸里小学校 水曜日(放課後)・金曜日(放課後) 鶴見橋中学校 火曜日(放課後)・木曜日(放課後) ※実施時間については、事業者の企画提案後に基づき決定します。
スケジュール	令和8年4月6日(月) 募集チラシ配付 受講者募集、入塾テスト 5月7日(木) 鶴見橋中学校で授業開始 5月8日(金) 岸里小学校で授業開始 5～6月 実力テスト(1回目)実施 令和9年2月 実力テスト(2回目)実施

(3) 進捗状況

- ・定員 44 名に対し、32 名が受講中、7 名が受講に向け調整中（6 月末時点）
- ・事業の効果を高めるため、学習指導方法を工夫して事業を実施。

（学習指導方法の工夫例）

受講者の状況に応じて、講師がやさしい日本語を用いることで理解度を高める。

年度当初に個別の年間学習計画を作成することで、効率的に学習を進める。

各回の開始時に学習計画を立て、終了時の振り返りで自己評価及び講師による評価を実施することで、受講者の学習への動機づけをする。

個別支援方式の対話型の指導を行うことで学習言語の定着を促すとともに、成功体験を積み重ね学習意欲と自己肯定感の向上につなげる。など

3 学力分析に基づく演習を活用した苦手分野克服事業 重点施策推進経費 (令和8年度 予算額 8,358千円)

(1) 事業概要

中学校の学力診断検査や高校入試の本番を想定した模擬テストを通じて、生徒の苦手分野を把握し、生徒にフィードバックすることで自身の課題を認識させるとともに、苦手分野の反復演習をすることで、個人の学力向上を図り、ひいては学校全体の学力の底上げを図る。

(2) 実施内容

対象者	区内中学生（1～3年生）	
科 目	国語、数学、理科、社会、英語	
受験料	無料	
スケジュール	令和8年4月15日	学校向け事業説明会を開催
	5～6月	中学校3年生 模擬テスト受験
	7月3日	模擬テスト結果の返却 結果に基づく苦手分野の問題を復習・演習 （学校の授業や宿題で実施）
	11～12月	中学校1、2年生 模擬テスト受験
	12～1月	冬休みを中心に模擬テストの復習
	令和9年2月5日（予定）	模擬テスト結果の返却 結果に基づく苦手分野の問題を復習・演習 （学校の授業や宿題で実施）

(3) 進捗状況

- ・ 5月下旬から6月上旬にかけて中学校3年生の模擬テストを全6中学校で実施済。

4 発展型学習支援事業 **重点施策推進経費**（令和8年度 予算額 23,284千円）

(1) 事業概要

家庭の経済状況の如何に関わらず本人が志望する高等学校への進学ができるように、成績中上位層を中心とした学習意欲のある生徒に対して、発展的な内容の学習機会を提供することによって更なる学力向上を図る。

(2) 実施内容

対象者	区内の小学校5、6年生（定員140名）及び中学生（定員80名）
入塾テスト	学力に応じた事業への参加を促進するため入塾テストを実施し、発展的な学習授業を提供する。
科目	（小学生）国語、算数、英語 （中学生）国語、数学、英語 ※中学校3年生の長期休業中に理科・社会
時間数	（小学生）年間100時間 （中学1、2年生）年間300時間 （中学3年生）年間340時間（うち理科・社会が40時間） ただし、中学生は成績上位の高等学校に合格するには反復演習等が重要であり、授業で学習した内容を反復学習させるため、多くの宿題を課して家庭学習に取り組む時間を設定した場合、開催時間300時間を下回ることもある。
授業料	無料
場所	（小学生）天下茶屋小学校、岸里小学校、玉出小学校、千本小学校、橘小学校、まつば小学校、長橋小学校、北津守小学校、南津守小学校、新今宮小学校 （中学生）成南中学校、梅南中学校 <u>※生徒の学力に合わせた効率的な指導を行うため、梅南中学校ではこれまでと同様の発展的な学習内容を中心とした授業を実施し、成南中学校ではより発展的な特進授業を実施する。</u>
スケジュール	令和8年4月6日 事前周知チラシ配付 4月 参加者募集、入塾テスト、 <u>進級者は授業開始</u> 5月中旬 授業開始 6月下旬 追加募集チラシを配付 7月 参加者追加募集、入塾テスト 9月 参加者最終募集、入塾テスト、実力テスト 令和9年2月 進級テスト

(3) 進捗状況

- ・4月に受講者を募集。申込者は小学生48名、中学生31名。入塾テストを行い、合格者は小学生28名、中学生は20名。進級者（小学生20名、中学生28名）を加え、受講者数は小学生・中学生それぞれ48名。
- ・進級者は4月より、合格者は5月中旬から授業を開始。

5 西成区基礎学力アップ事業(西成まなび塾)区長裁量予算(令和8年度 予算額 251 千円)

(1) 事業概要

区内の小学校5、6年生及び中学生に対し、小中学校校舎等の公共施設を活用した塾等事業者による課外授業（補習）を実施する。

(2) 実施内容

対象者	区内の小学校5、6年生及び中学生
科 目	(小学生)国語、算数(中学生)国語、数学、英語
授業料	月額1万円(塾代助成カード利用可)
場 所	(小学生)北津守小学校、たちばな会館、玉出老人憩いの家 (中学生)鶴見橋中学校、たちばな会館、玉出老人憩いの家
スケジュール	令和8年4月 参加者募集チラシ配付、授業開始 5月 北津守小学校で体験会を実施 7月～9月 区内9小学校で体験会を実施 12月～1月 <u>次年度事業及び大阪市習い事・塾代助成事業次年度申請の周知のため、各学校に周知ポスターを掲示</u>

(3) 進捗状況

・受講者数

小学校5、6年生参加者（6月末時点）合計18名

北津守小学校 4名、たちばな会館 6名、玉出老人憩いの家 8名

中学生参加者（6月末時点）合計40名

鶴見橋中学校 12名、たちばな会館 11名、玉出老人憩いの家 17名

6 基礎学力向上支援事業(西成ジャガピースクール)区長裁量予算 (令和8年度 予算額 8,332千円)

(1) 事業概要

区内小学3、4年生に対し、夏休みや平日の放課後、冬休みを利用し、小学校で塾等の事業者による課外授業を実施する。

(2) 実施内容

対象者	区内の小学校在学の3、4年生
定員	定員 240 名
日時	3、4年生：年間 45 時間 うち、前期（6月～夏休み終了）20 時間（夏休みや平日の放課後を中心に実施） 後期（2学期開始～2月）25 時間（平日の放課後や冬休みを中心に実施） を基本に学校ごとに個別調整
科目	国語、算数を重点的に実施 学校の希望に合わせて宿題サポートの実施 <u>日本漢字能力検定を受検</u>
スケジュール	令和8年4月8～13日 学校と事業者の打ち合わせ 4～5月 参加者募集（前期） 4月22日 ジャガピースクール体験会（3年生） ～5月13日 6～8月 参加者募集（後期） 6～9月 事業実施（前期） 9～2月 事業実施（後期） ※後期からの参加も可能 <u>令和9年1月22日</u> <u>日本漢字能力検定を受検</u>

(3) 進捗状況

- ・ 4月下旬～5月中旬に3年生児童に対して学校の授業時間を活用して体験会を実施。
- ・ 4～5月の前期募集では、定員 240 名に対して 145 名が参加。定員に空きがあるため、6月～7月に後期募集を実施している。6月末時点での後期からの新規参加者は 22 名で、前期参加者と合わせると、後期は、合計 167 名が参加予定。

7 学習支援サービス(マイクロステップ・スタディ) 区長裁量予算 (令和8年度 予算額 405千円)

(1) 事業概要

個人にあった問題を出題する機能を持つ e ラーニングサービス「マイクロステップ・スタディ」を導入し、効率的に児童一人ひとりの学力や語彙の定着率を踏まえながら語彙力の向上を図り、誰も取り残すことなく学力と意欲の向上を図る。

(2) 実施内容

対象者	北津守小学校 3 ～ 6 年生
科 目	漢字の読み、英単語の意味 (5 ・ 6 年生)
方 法	・各クラスが授業時間等の毎日 5 分～15 分の時間を利用し、児童の学習者用端末も用いて学習を行う。 ・潜在記憶理論に基づく学習法 (4 段階回答方式) 及び (※) 独自のフィードバックシステムの採用。 ※ 学習した内容を潜在記憶が確実に積み重なっていることをグラフにし、学習履歴及び個人の成績の変化を可視化したもの。
スケジュール	令和 8 年 4 月 新 3 ～新 6 年生の児童管理番号を受託事業者 (岡山大学) へ提供 5 月～ 3 月 ライセンス付与後、学習開始

(3) 進捗状況

- ・ 5 月から週 4 回以上マイクロステップ・スタディに各児童が取り組んでいる。

8 プレーパーク事業 区長裁量予算（令和8年度 予算額 17,112 千円）

（1）事業概要

魅力ある子育て環境を創出することで西成区に対する偏見やマイナスイメージを払拭し、西成特区構想でめざす子育て世代の誘引・定着への動機付けの一端を担う場となるべく子どもの生きる力を育む居場所であるプレーパークを実施する。

（2）実施内容

○プレイス型（にしなりジャガピーパーク）

元来のプレーパークとしての「遊び場」だけでなく、こどもが課題を克服できる場として、学習支援を行う「学び場」、自己肯定感を高めることができる「たまり場」の3つの場の要素を取り入れ、子ども達に多様な遊びの体験の場を提供することで「生きる力」を育むこどもの居場所としてのプレーパークを実施する。

開催日	土日祝日及び長期休み中の平日（計 54 日間）
開催時間	10 時～17 時（冬季は 10 時～16 時 30 分）
場 所	・もと松通保育所所庭（<u>30 回以上</u>） ・もと松之宮小学校校庭（<u>10 回程度</u>） ・もと今宮小学校運動場用地（<u>10 回程度</u>） ・区内公園 など（開催回数制限なし）

○体験型（ジャガパーわくわくクラブ）

体験活動により子どもの好奇心を刺激し物事への興味や関心を広げ、ひいては学習意欲も引き出すことを目的として、子ども学び体験イベントを実施する。

【子ども体験活動】

開催日	土日祝日及び長期休み中の平日（計 18 日間）
開催時間	10 時～16 時
場 所	・西成区内小学校体育館・運動場・多目的室等（各学校 年に 1 ～ 2 回程度） ・西成区役所庁前広場・区民ロビー など（開催回数制限なし） ・区内公園 など（開催回数制限なし）

(3) 進捗状況

(プレイス型)

- ・もと松通保育所 6 日、もと松之宮小学校 4 日、もと今宮小学校 3 日、南津守中央公園 1 日
計 14 日間開催し、平均来場者数 120 名（6 月末時点）

(体験型)

日 時	場 所	実 施 内 容
7 月 12 日（日）	西成区役所	ぬりえ・TANO（視覚トレーニング）・カタヌキ・ つみきワークショップ
7 月 20 日（月・祝）	（昼）新今宮小学校	ダンス・チリメンモンスターをさがそう・ オロチカードゲーム
	（夜）玉出西公園	セミの羽化の観察
7 月 25 日（土）	玉出小学校	和太鼓体験・創造する力を育てよう・ 手書きの大切さを学ぼう・科学実験（空気）

以降順次開催予定。

9 西成区こどもの読書活動推進支援事業(拡充) **【小中学生】校長経営戦略支援予算(区担当教育次長執行枠)**・
【未就学児】区長裁量予算 (令和8年度 予算額 1,554千円)

(1) 事業概要

読書活動を行うきっかけづくりとして、年間の読了冊数に応じて賞状を贈呈する。なお、対象となる本は、学校図書館・西成図書館・移動図書館で貸出されているものとする。

また、未就学児が早い段階から読書に親しめるよう、家庭でえほんの読み聞かせを行った未就学児とその保護者に対しても賞状を贈呈する。

(2) 実施内容

対象者	区内小中学校在学の児童生徒 区内保育所（園）及び幼稚園に在籍する未就学児とその保護者			
年間目標	小学校1年、2年	100冊	小学校3年、4年	70冊
	小学校5年、6年	50冊	中学校1年～3年	25冊
	未就学児	20回		
スケジュール	令和8年3月30日 読書カードを児童生徒へ配付 5～6月 えほんよみきかせカードを未就学児へ配付 （5/12 公立保育所・幼稚園、6/10 民間保育施設等） 令和9年1月 集計依頼・ふりかえりシートの送付 2月 読書（読み聞かせ）数を集計 3月 目標達成者等へ賞状授与・学校等で区長表彰（希望する学校等） ※最多読書賞も学校訪問時に表彰			

(3) 進捗状況

- ・「読書カード」を、3月30日に小中学校へ配付し、取組を開始。
- ・「えほんよみきかせカード」を、5月12日に公立保育所・幼稚園へ、6月10日に今年度から新たに対象となった民間保育施設等（事業内容を説明のうえ）へ配付し、取組を開始。
- ・令和9年1月～2月に報告書の提出を求め、集計予定。

10 キャリア教育推進支援事業 **校長経営戦略支援予算(区担当教育次長執行枠)**
(令和 8 年度 予算額 160千円)

(1) 事業概要

西成区内在学の中学生を対象に、様々な分野で活躍するゲストティーチャーとの交流や講義を通して、ゲストティーチャーがどのような進路を選択し、どのような方法でその職業に就いたのかを学ぶなど、児童生徒が具体的な進路や将来の職業について考える機会を提供する。この機会をきっかけに、児童生徒が自己の進路を決定し、その目標に向かって学習や運動に取り組むことにより、学力や体力の向上につなげることを目標とする。

(2) 実施内容

令和 8 年度実施校	天下茶屋中学校・玉出中学校・梅南中学校	
スケジュール	令和 8 年 3 月	学校にキャリア教育を実施する団体等の希望調査
	4 月～	実施に向けた調整
	6 月～ 3 月	事業実施

(3) 進捗状況

- ・ 令和 8 年 6 月 10 日 梅南中学校にて大阪エヴェッサのキャリア教育を実施。
- ・ 令和 8 年 6 月 18 日 玉出中学校にて大阪マーヴェラスのキャリア教育を実施。
- ・ 令和 8 年 6 月 29 日 天下茶屋中学校にて大阪エヴェッサのキャリア教育を実施。

11 大阪フィルハーモニー交響楽団出前授業事業 区長裁量予算（令和8年度 予算額 1,400千円）

（1）事業概要

区内小中学校の児童・生徒がプロの演奏に触れ、大阪フィルハーモニー交響楽団を身近に感じてもらうことで、地域への愛着や誇りをはぐくむとともに、楽団員の楽器との出会いや成功体験などを聞くことで、将来の目標を見出していける人材の育成をめざすことを目的として実施。

（2）実施内容

対象者	区内小学生、中学生
実施校	2年間で各小中学校訪問 ○令和8年度実施校 <u>今宮中</u> （5/18）・ <u>成南中</u> （4/23）・ <u>鶴見橋中</u> （6/12）・ <u>岸里小</u> （5/7） ・ <u>千本小</u> （6/11）・ <u>長橋小</u> （6/5）・ <u>北津守小</u> （5/26）・ <u>新今宮小</u> （5/18）
場 所	各小中学校
内 容	各校の要望に合わせ、1～2コマ連続で実施

（3）進捗状況

全8校実施済み

12 西成しごと博物館について 区長裁量予算（令和8年度 予算額 11千円）

（大阪府中小企業家同友会大阪南東ブロック西成住之江支部と協働実施事業）

（1）事業概要

西成区や近隣のこどもたちに、地元の企業の仕事内容を理解してもらうことで、働くことの大切さや面白さを感じてもらい、地元に誇りと愛着を持っていただくことを目的として主に区内の企業に出席していただき、仕事見学・体験を行う。

（2）事業対象者

西成区や近隣のこどもたち

区内小学生（4～6年生）、区内中学生（1～3年生）

（3）令和8年度の事業実施について

日時：令和8年11月8日（日）午前10時～午後4時（予定）

場所：西成区民センター

その他：実施内容については、区役所・大阪府中小企業家同友会西成住之江支部とで協議予定。

13 帰国・来日等のこどものコミュニケーションサポート事業 **校長経営戦略支援予算(区担当教育次長執行枠)**
(令和8年度 予算額 2,219千円)

(1) 事業概要

帰国・来日等の児童生徒で、学校生活において日本の生活習慣等に支援が必要な児童生徒に対し支援を行う「帰国・来日等のこどものコミュニケーションサポーター」を区内小中学校に配置することにより、支援対象者の学校生活の支援及び周囲の児童生徒への理解促進を行う。

(2) 実施内容

活動実績に応じて、サポーターに報償金（1時間あたり1,200円）を支給する。また、1回の活動あたり1,500円を上限に交通費を支給する。

(3) その他

大阪市と連携協定を結んでいる(株)YOLLO JAPANの外国人求人メディア(YOLLO WORK)に帰国・来日等こどものコミュニケーションサポーターを募集しており、今後も引き続き掲載していく予定。

(4) 進捗状況

- ・現在活動しているサポーター数 23名（6月末現在）
- ・活動実績 437.5時間（全校合計）
〔内訳：4月 149.5時間、5月 158.5時間、6月 129.5時間〕

14 小・中学校サポーター登録事業 区長裁量予算

(令和8年度 予算額 0千円)※予算額0千円であるが、区長裁量事業として実施

(1) 事業概要

区内の小中学校を支援していただける団体や個人の方々を西成区役所が募集・登録し、各学校に情報を提供することで、区内小・中学校の様々な活動の支援につなげる。

(2) 活動内容の例

- ・ 児童生徒への学習支援
- ・ 帰国・来日した児童生徒への支援
- ・ 総合的な学習の時間等における講師・ゲストティーチャー
- ・ 職場見学や職場体験の受け入れ など

(3) 進捗状況

紹介実績

- ・ 区低学年サポーター 2名（6月末現在）
〔上記2名を含む現在活動しているサポーター数 32名〕
- ・ 帰国・来日等こどものコミュニケーションサポーター 3名（6月末現在）
〔上記3名を含む現在活動しているサポーター数 23名〕